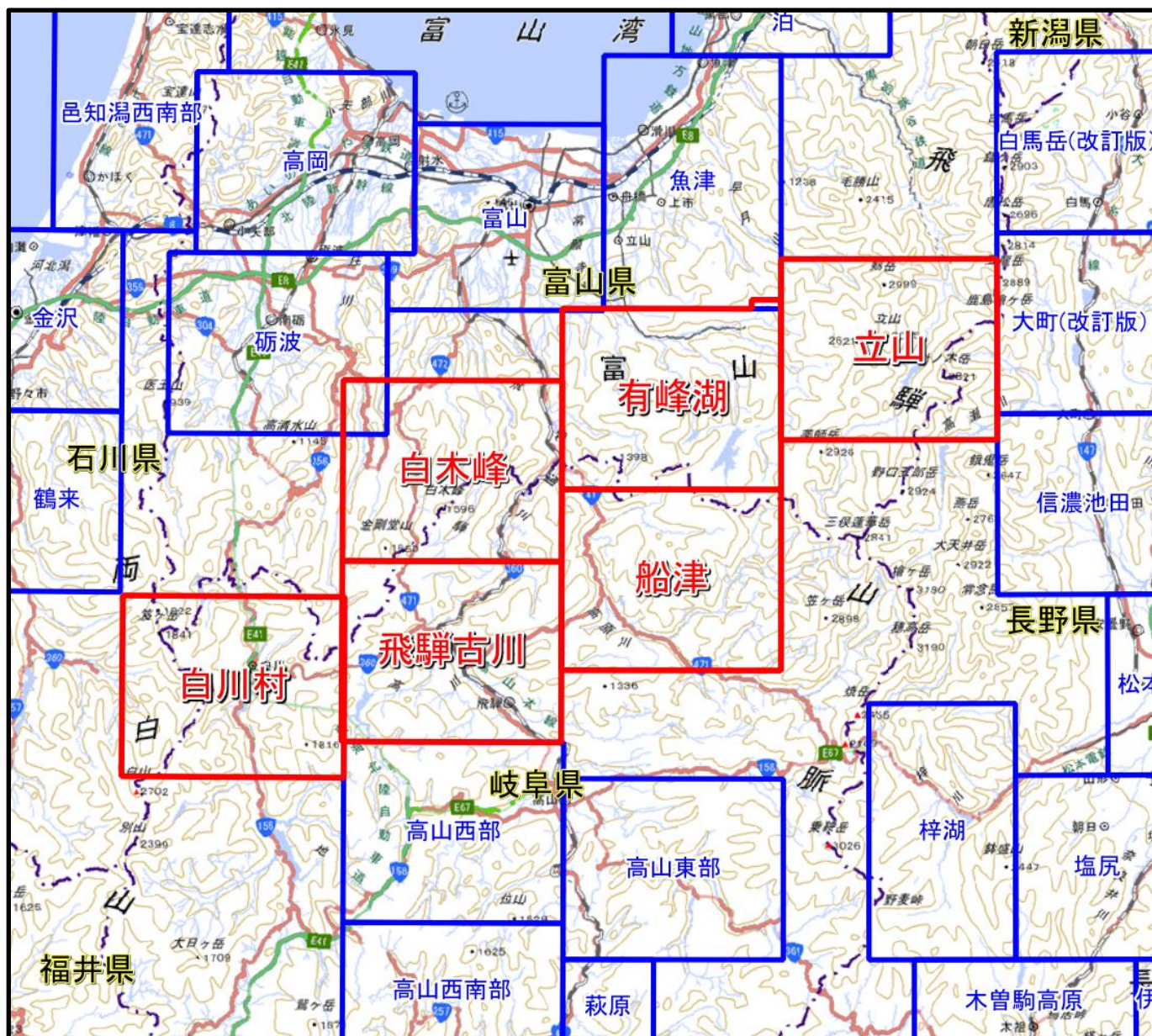


位置図

資料 1

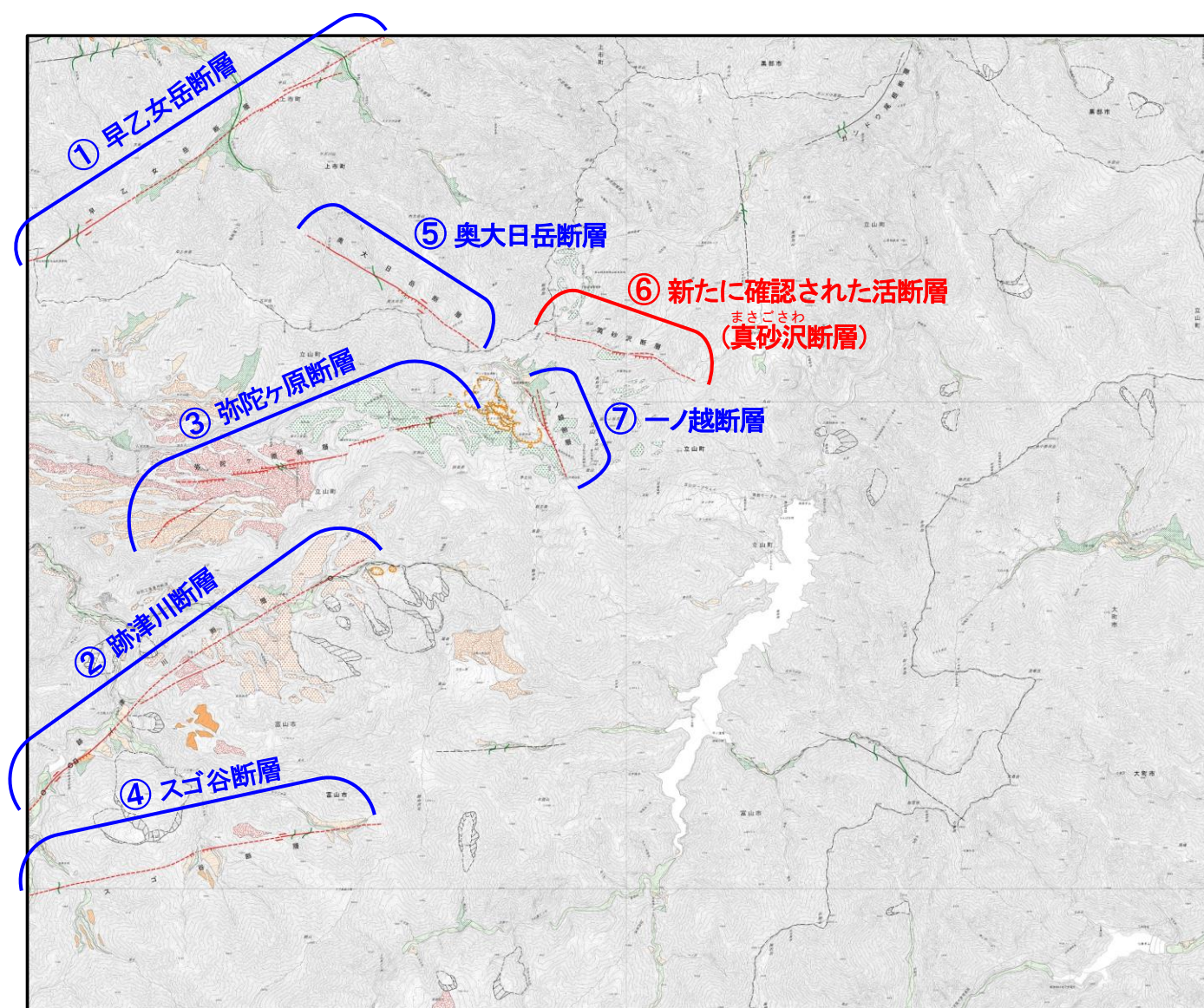
1:25,000 活断層図「立山」「有峰湖」「船津」「白木峰」「飛驒古川」「白川村」



公開図郭
 整備済図郭

概要

1. 1:25,000 活断層図「立山」



2. 今回の調査で得られたこと

「立山」図葉には、^{たてやま}早乙女岳断層約 8km、^{さおとめだけ}跡津川断層約 8km、^{あとつがわ}弥陀ヶ原断層約 6km、^{みだかはら}スゴ谷断層約 7km、^{たに}奥大日岳断層約 4km、^{まさごさわ}新たに確認された活断層（真砂沢断層）約 3km、^{いちのこし}一ノ越断層約 2km と、その他の推定活断層を表示しています。

表示した活断層は、以下のとおりです。

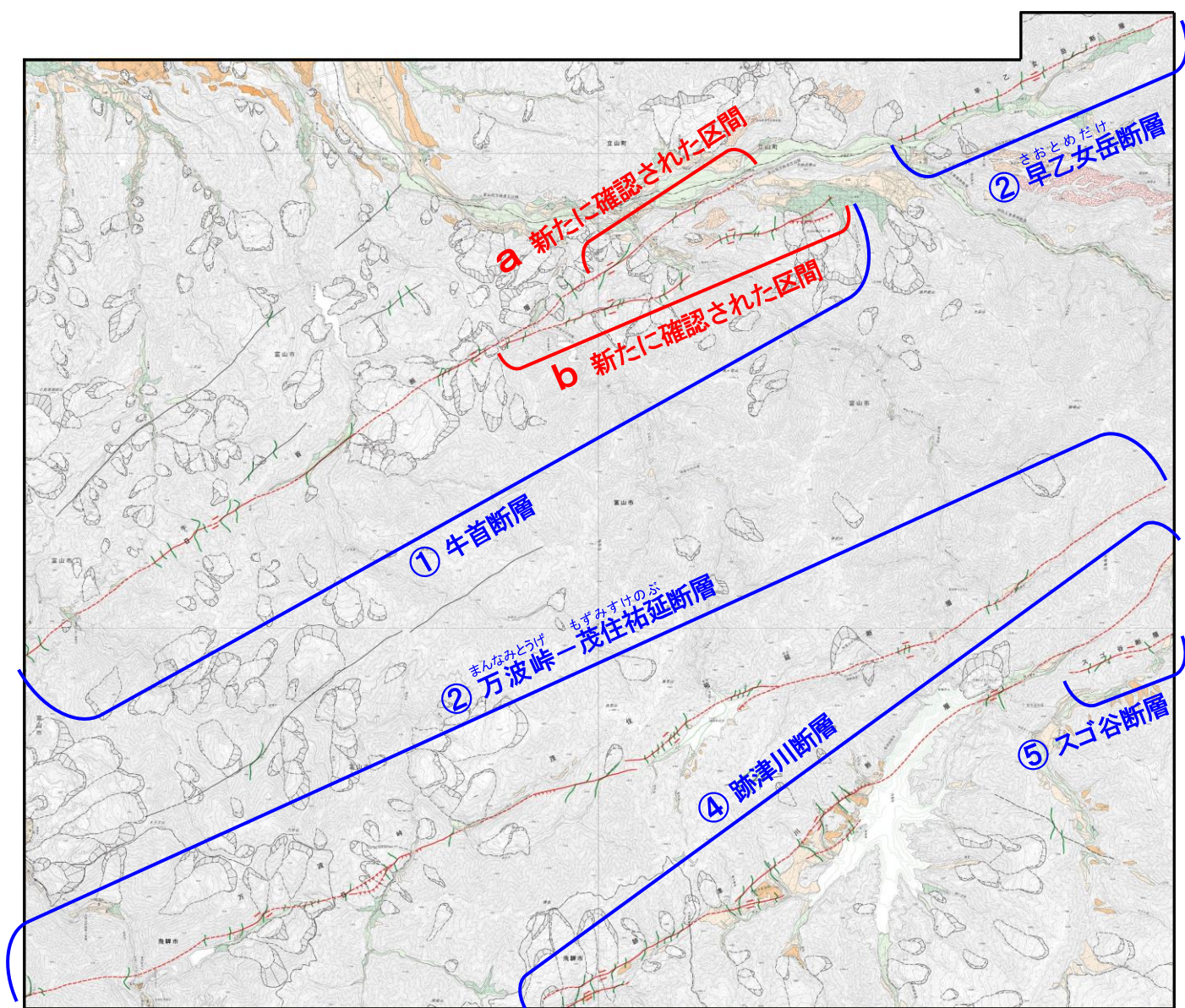
	断層名	断層について
①	さおとめだけ 早乙女岳断層	図郭北端から富山県上市町と立山町との境界付近に位置する登山研修所冬山前進基地（図郭西端）まで、おおむね北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 8km の右横ずれ*を主体とする活断層です。 小又川より東側の区間では、相対的に北西側隆起（南東落ち）の縦ずれ*変位が確認できます。
②	あとつがわ 跡津川断層	立山町と富山市の境付近に位置する刈込池の北西から富山市の「真川の跡津川断層」（天然記念物）の南西（図郭西端）まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 8km の活断層です。 右横ずれ*を主体とし、一部縦ずれ*変位を含んでおり、真川の水力取入口付近から、北東方向に分岐する長さ約 2km の活断層が確認できます。
③	みだかはら 弥陀ヶ原断層	立山町の国見岳の北から同町の弥陀ヶ原付近まで、東北東－西南西方向に延びる長さ約 6km の右横ずれ*を主体とする活断層です。 断層の東端から西へ約 4km までの区間は、相対的に北側隆起（南落ち）の縦ずれ*変位を伴い左雁行*する三条の断層線が断続的に確認できます。 関西学院大ヒュッテの南付近から西側では、相対的に南側隆起（北落ち）及び相対的に北側隆起（南落ち）の縦ずれ*変位を伴い左雁行*する三条の断層線が認められ、一部には右横ずれ*変位も確認できます。また、この断層トレースから南西方向へ長さ約 1km の活断層が分岐し、その中央付近では相対的に北側隆起（南落ち）の縦ずれ*変位が確認できます。
④	たに スゴ谷断層	富山市の越中沢岳えっちゅうざわだけの西から図郭西端まで、概ね東北東－西南西方向に延びる本図葉内の長さ約 7km の活断層です。 中央部のスゴいちのだにの谷上流部で相対的に北側隆起（南落ち）の縦ずれ*変位が確認できるとともに、断層の東側では右横ずれ*変位が確認できます。

⑤	おくだいにちだけ 奥大日岳断層	富山県上市町と立山町の境付近に位置する奥大日岳の北西から室堂乗越むろどうのつこし付近まで、北西－南東方向に延びる長さ約 4km の活断層です。 奥大日岳付近では、相対的に北東側隆起（南西落ち）の縦ずれ*及び左横ずれ*の変位が確認できます。
⑥	<u>新たに確認された</u> <u>活断層</u> まさごさわ <u>(真砂沢断層)</u>	<u>奥大日岳断層の南東端から東へ約 1km の劔御前小舎付近から真砂岳の東方まで、西北西－東南東方向に延びる長さ約 3km の活断層です。</u> <u>今回の調査で新たに確認された活断層であり、真砂岳北斜面の真砂沢谷底の氷成堆積物堆積面（氷河により運搬され、氷河から直接放出された未固結の堆積物からなる地形面）を変位させていることから真砂沢断層と命名しました。</u> <u>真砂沢谷底の氷成堆積物堆積面や真砂岳北東の山地斜面に、地形の傾斜方向とは逆向きの相対的に北側隆起（南落ち）の縦ずれ*変位が確認できます。</u>
⑦	いちのこし 一ノ越断層	奥大日岳断層の南東端から南東へ約 1km の野営場管理所付近から一ノ越付近まで、北北西－南南東方向に延びる長さ約 2km の活断層です。 断層の中央付近では、地形の傾斜方向とは逆向きの相対的に西側隆起（東落ち）の縦ずれ*変位が確認できます。

「※」は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図「有峰湖」



2. 今回の調査で得られたこと

「有峰湖」図葉には、^{ありみねこ}牛首断層約 18km、^{うしくび}早乙女岳断層約 6km、^{さおとめだけ}万波峠-茂住祐延断層約 24km、^{まんなみとうげ}跡津川断層約 15km、^{もずみすけのぶ}スゴ谷断層約 2km と、^{あとつがわ}その他の推定活断層を表示しています。

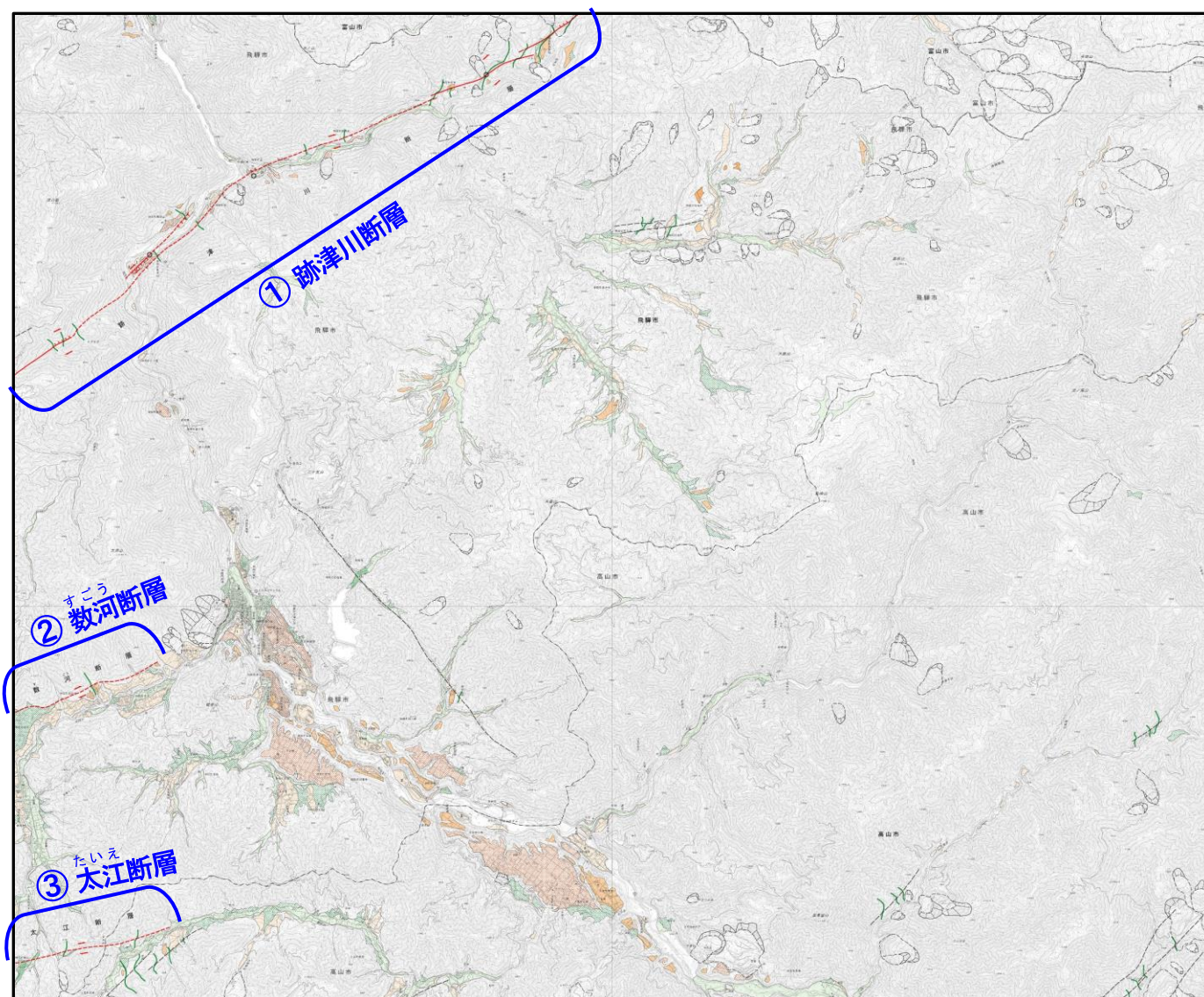
表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について
①	うしくび 牛首断層	常願寺川の左岸に位置する富山市本宮付近から、神通川付近（図郭西端）まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 18km の活断層で、右横ずれ※を主体とし、一部区間に縦ずれ※変位が確認できます。 <u>断層東端の区間において新たに活断層を確認し、断層が二条に分岐するとともに北東への延長が確認されました（図中 a、b）。</u> <u>a 区間では、和田川左岸西方及び富山地方鉄道立山線の本宮駅南方の山地斜面上に谷線の右屈曲が確認でき、本宮駅東方には地形の傾斜方向とは逆向きの相対的に北側隆起（南落ち）の縦ずれ※変位が確認できます。</u> <u>b 区間では、小口川ダム西方から和田川左岸まで数条の系統的な谷線の右屈曲が確認され、立山山麓スキー場がのる扇状地上には地形の傾斜方向とは逆向きの相対的に北側隆起（南落ち）の縦ずれ※変位が確認できます。</u>
②	さおとめだけ 早乙女岳断層	常願寺川の支流に位置する人津谷の上流付近（図郭北東端）から立山町の千寿ヶ原まで、概ね北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 6km の右横ずれ※を主体とする活断層です。
③	まんなみとうげ 万波峠－ もずみすけのぶ 茂住祐延断層	富山市の大坂森山の北東（図郭東端付近）から岐阜県飛騨市の神岡町杉山の西（図郭西端）まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 24km の活断層で、右横ずれ※を主体とし一部区間に縦ずれ※変位が確認できます。
④	あとつがわ 跡津川断層	富山市の大坂森山の東（図郭東端）から富山市と飛騨市の境界に位置する横岳の南（図郭南端）まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 15km の右横ずれ※を主体とする活断層です。有峰湖西岸の山地斜面（宝来島の北西）に、地形の傾斜方向とは逆向きの相対的に南東側隆起（北西落ち）の縦ずれ※変位が確認できます。
⑤	たに スゴ谷断層	真川（図郭東端）から猪ノ根谷付近まで、概ね東北東－西南西方向に延びる本図葉内の長さ約 2km の活断層で、右横ずれ※変位が確認できます。

「※」は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図「船津」



2. 今回の調査で得られたこと

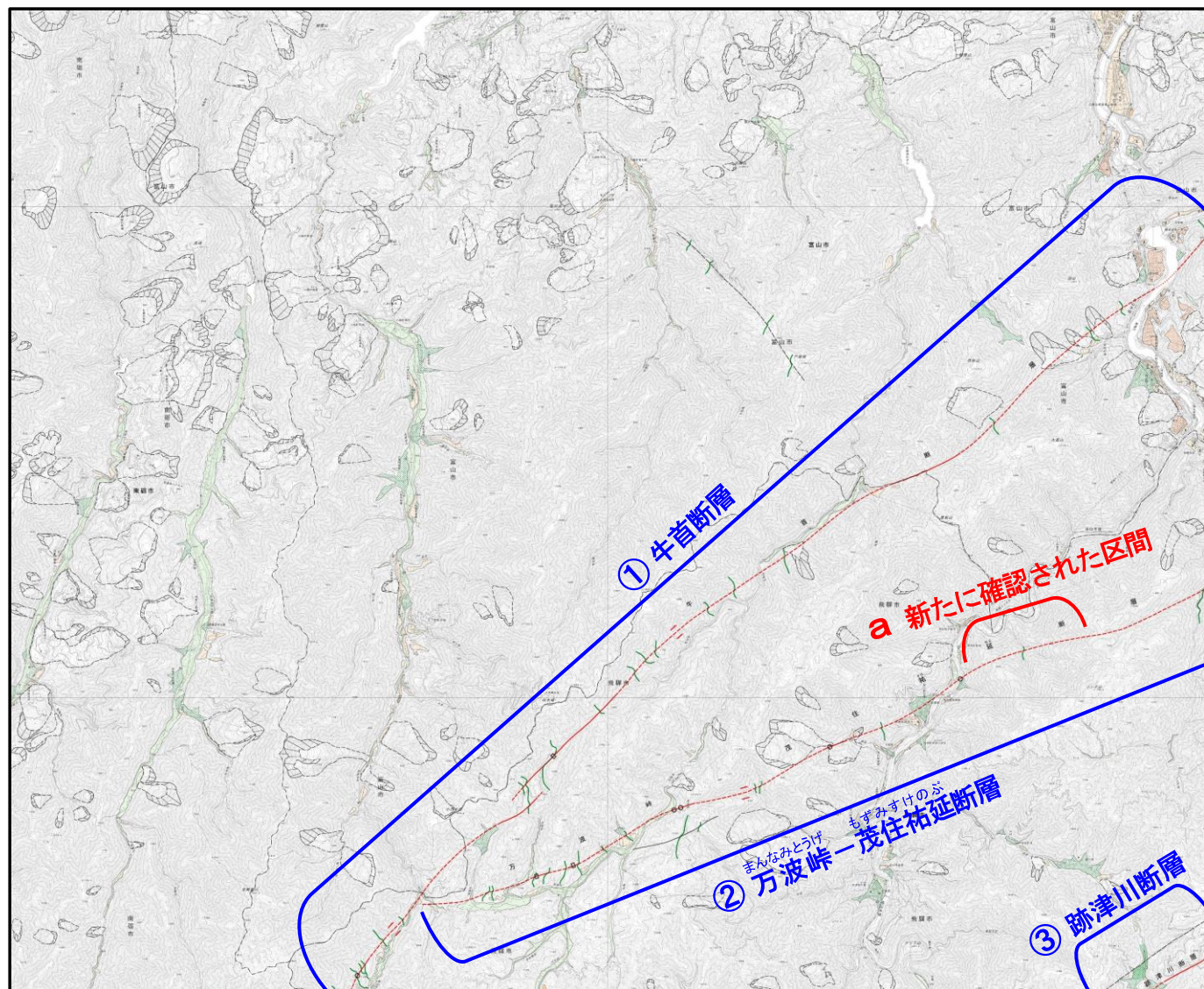
「^{ふなつ}船津」図葉には、^{あとつがわ}跡津川断層約 13km、^{すごう}数河断層約 3km、^{たいえ}太江断層約 3km と、その他の推定活断層を表示しています。
表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について
①	あつがわ 跡津川断層	岐阜県飛騨市神岡町大多和付近から同市神岡町東^{ひがしうるしやま}漆山西方まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 13km の活断層で、右横ずれ[*]を主体とし、一部区間に縦ずれ[*]変位が確認できます。 また、飛騨市神岡町大多和付近及び同市神岡町佐古付近に左雁行が確認され、同市神岡町西漆山付近に主断層の北西側に並行する長さ約 2km の断層線が確認できます。
②	すごう 数河断層	飛騨市神岡町寺林付近から図葉西端の同市神岡町伏方^{ふせがた}付近まで、東北東－西南西方向に延びる本図葉内の長さ約 3km の活断層で、右横ずれ[*]変位が確認できます。
③	たいえ 太江断層	岐阜県高山市荒原付近から図葉西端の飛騨市神岡町巢山付近まで、東北東－西南西方向に延びる本図葉内の長さ約 3km の活断層で、右横ずれ[*]変位が確認できます。

「^{*}」は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図「白木峰」



2. 今回の調査で得られたこと

「白木峰」図葉には、^{しろきみね}牛首断層約 21km、^{うしくび}万波峠—^{まんなみとうげ}茂住祐延断層約 16km、^{もずみすけのぶ}跡津川断層約 1km と、その他の推定活断層を表示しています。

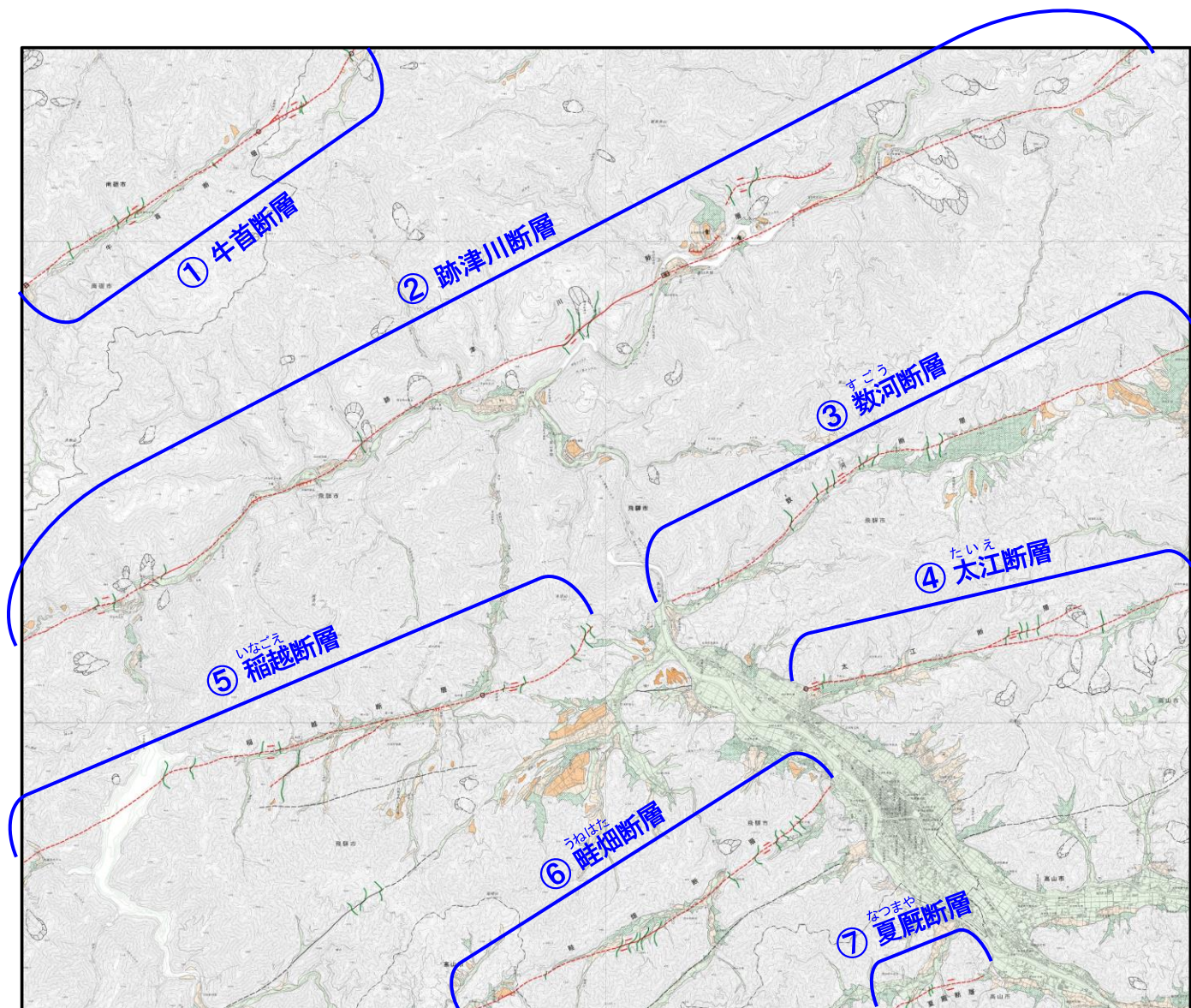
表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について
①	うしくび 牛首断層	神通川の右岸に位置する富山市吉野付近から岐阜県飛騨市の原山本谷の西（図郭南端）まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 21km の右横ずれ※を主体とした活断層です。 富山市吉野付近から延びる断層線は、飛騨市の大坂谷付近で南側に位置を変え図郭南端まで延びています。
②	まんなみとうげ 万波峠－ もずみすけのぶ 茂住祐延断層	飛騨市のソンボ山の北東（図郭東端）から牛首断層との分岐部まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 16km の右横ずれ※を主体とした活断層です。 <u>飛騨市宮川町巢納谷付近からソンボ山北方の区間は、今回新たに活断層として確認されました。この区間の西側の万波峠断層と東側の茂住祐延断層が連続したことにより、名称を万波峠－茂住祐延断層としました。</u> 飛騨市の万波峠の南側には、主断層に並行して谷線の右屈曲を伴った推定活断層が確認できます。
③	あつがわ 跡津川断層	飛騨市池ヶ原湿原付近（図郭の南東端部分）に位置し、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 1km の活断層で、北西側に推定活断層が並走しています。

「※」は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図「飛騨古川」の概要



2. 今回の調査で得られたこと

「飛騨古川」図葉には、^{うしくび}牛首断層約8km、^{あとつがわ}跡津川断層約24km、^{すごう}数河断層約11km、^{たいえ}太江断層約8km、^{いなごえ}稲越断層約12km、^{うねはた}畦畑断層約8km、^{なつまや}夏厩断層約2km と、その他の推定活断層を表示しています。

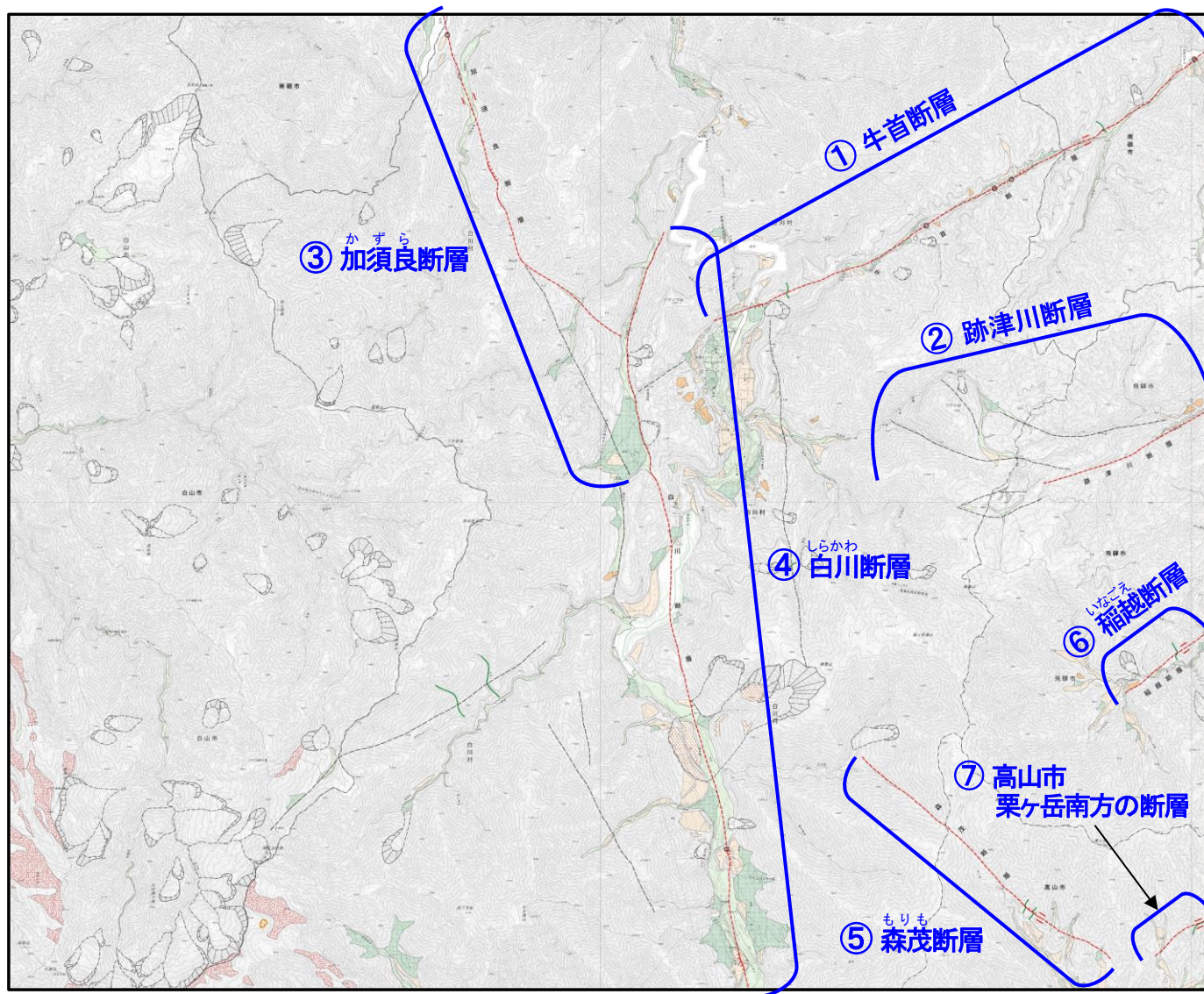
表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について
①	うしくび 牛首断層	岐阜県飛騨市を通る国道 471 号線の ^{しゅうとうげ} 檜 峠 の北方（図郭北端）から富山県南砺市利賀村水無の南西（図郭西端）まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 8km の活断層で、右横ずれ [*] を主体とし、一部区間に縦ずれ [*] 変位が確認できます。
②	あとつがわ 跡津川断層	飛騨市の池ヶ原湿原（図郭北端）から同市河合町 ^{あもう} 天生の西（図郭西端）まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 24km の活断層で、右横ずれ [*] を主体とし、一部区間に縦ずれ [*] 変位が確認できます。 飛騨市宮川町丸山の北方及び同市宮川町 ^{にししのび} 西 忍 付近では、主断層に並行する長さ約 2km 及び約 1km の断層線が確認できます。
③	すごう 数可断層	飛騨市神岡町伏方（図郭東端）から同市古川町野口付近まで、東北東－西南西方向に延びる本図葉内の長さ約 11km の活断層で、一部区間に右横ずれ [*] 変位が確認できます。
④	たいえ 太江断層	図郭東端の飛騨市神岡町 ^{かしはら} 柏原付近から同市古川町杉崎付近まで、東北東－西南西方向に延びる本図葉内の長さ約 8km の活断層で、一部区間に右横ずれ [*] 変位が確認できます。 飛騨市上太江の東から北東方向に分岐する断層線が確認できます。
⑤	いなごえ 稲越断層	飛騨市古川町谷の西から東海北陸自動車道の飛騨河合パーキングエリア付近（図郭西端）まで、東北東－西南西方向に延びる本図葉内の長さ約 12km の右横ずれ [*] を主体とする活断層です。 飛騨市 ^{みやのわき} 宮ノ脇で主断層から南西へ分岐する断層線が確認できます。
⑥	うねはた 畦畑断層	宮川右岸の飛騨市古川町宮城町から ^{おどりやま} 高山市小鳥山（図郭南端）まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 8km の活断層で、右横ずれ [*] を主体とし、一部区間に縦ずれ [*] 変位が確認できます。
⑦	なつまや 夏廐断層	宮川右岸の高山市国府町名張付近から同市国府町宇津江の南（図郭南端）まで、東北東－西南西方向に延びる本図葉内の長さ約 2km の右横ずれ [*] を主体とする活断層です。

「※」は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図「白川村」



2. 今回の調査で得られたこと

「白川村」図葉には、^{うしくび}牛首断層約 11km、^{あつがわ}跡津川断層約 6km、^{かずら}加須良断層約 9km、^{しらかわ}白川断層約 14km、^{もりも}森茂断層約 6km、^{いなごえ}稲越断層約 2km、高山市栗ヶ岳南方の断層約 1km と、その他の推定活断層を表示しています。

表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について
①	うしくび 牛首断層	富山県南砺市の利賀川ダム（図郭東端）から岐阜県白川村のゾウゾウ山の東まで、北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 11km の活断層で、一部区間に右横ずれ※及び縦ずれ※変位が確認できます。
②	あとつがわ 跡津川断層	岐阜県飛騨市の金山谷の北東（図郭東端）から もみぬかやま の北まで、東北東－西南西方向に延びる本図葉内の長さ約 6km の活断層です。 図郭東端から長さ約 3km の活断層が延び、活断層の西端部及び金山谷付近からは、ほぼ東西方向に並行して延びる長さ約 1km から約 3km の数条の推定活断層が確認できます。
③	か ず ら 加須良断層	富山県南砺市と岐阜県白川村の境界に位置する桂湖（図郭北端）から白川村馬狩まで、北北西－南南東方向に延びる本図葉内の長さ約 9km の活断層で、一部区間に左横ずれ※及び縦ずれ※変位が確認できます。 れんにょいわ 蓮如岩付近から南東方向へ そとばとうげ 卒塔婆峠の北まで延びる区間は活断層となっており、南南東方向の白川村馬狩まで延びる区間は推定活断層となっています。
④	しらかわ 白川断層	白川村のゾウゾウ山の北の庄川左岸付近から同村平瀬（図郭南端）まで、ほぼ南北方向に延びる本図葉内の長さ約 14km の活断層で、一部区間に縦ずれ※変位が確認できます。
⑤	もりも 森茂断層	白川村の かえりくもやま 帰雲山の南東から高山市の一ノ谷の東付近まで、北西－南東方向に延びる本図葉内の長さ約 6km の活断層で、一部区間に左横ずれ※及び縦ずれ※変位が確認できます。
⑥	いなごえ 稲越断層	飛騨市の くりがだに 栗ヶ谷川に沿って北東－南西方向に延びる本図葉内の長さ約 2km の右横ずれ※を主体とする活断層です。
⑦	高山市栗ヶ岳南方の断層	くりがだけ 岐阜県高山市の栗ヶ岳南方（本図の南東端部分）に位置し、北東から南西方向に延びる本図葉内の長さ約 1km の活断層で、東端部に右横ずれ※変位が確認できます。

「※」は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照